

平和への誓い

私たちは、これまで、平和についていろいろなことを学んできました。

一発の原子爆弾で、広島^{ひろしま}の空は一瞬^{いつしゆん}にして地獄^{じごく}の空に変わり、あたりは、黒く焼けただれて亡くなった人々や苦しみの叫び^{さけ}で一杯^{いっぱい}になったこと。そして、今も多くの人々が苦しんでおられること。

あの日から五十二年…。今私たちの住んでいる広島は、たくさんの緑に囲まれた美しい街です。私たちは、今の広島が、私たちのおじいさん、おばあさんなど、多くの人々の努力によってよみがえったことも学びました。

しかし、今でも、世界にはたくさんの核兵器^{くわへいき}があると聞いています。争い^{うば}でかけがえのない命^{いのち}を奪^{かんきょうは}われたり、貧困や環境破壊などによって苦しんでいる人たちもいます。

学べば学ぶほど、私たちの住んでいる地球が、本当の平和な世界とは、まだ言えないことに気付きました。

平和な世界にしていくために、未来に向けて、今、私たちは何をしなければならいのでしょうか。

それは、友達と仲良くすること。人の悲しみをわかりあえる温かい社会をつくること。そして、私たち自身の生命^{いのち}を大切にし、支え合い、希望と勇気をもって生きていくことです。たとえ一人一人の力は小さくても、みんなが力を合わせれば、平和の輪を築く大きな力になっていくと思います。

五十二回目の平和記念日^{むか}を迎えた今日、私たちは、世界遺産になった原爆ドームの大切さを知り、核兵器^{くわへいき}の恐ろしさを伝えていきます。そして、広島の子どもとしてもっともっと学び、世界の友達^{いと}と一緒に、平和をつくりあげていくために努力することを誓います。

平成9年（1997年）8月6日

子ども代表

広島市立伴東小学校 6年

広島市立大林小学校 6年

すがもと
寿賀本
こう
河本

はるか
遙
けんたろう
健太郎